

評価細目の第三者評価結果  
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜市保育所全体的な計画」「アプローチカリキュラム」に基づき、子どもの発達過程、子どもの家庭状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。</li> <li>・「年間指導計画」、「月の指導計画」、「個別指導計画」などを作成し、評価反省を行い、その後の保育につなげている。</li> <li>・保育の理念や保育所の目標は、玄関正面の掲示コーナーや各保育室に掲示したり、全職員が携帯し、意識して保育にあたるようにしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、安全点検（保育室、防災、遊具など）を実施し、安心安全な環境を整えている。</li> <li>・薬剤師による環境衛生検査を実施し、適切な環境が保たれている。</li> <li>・毎日「新型コロナウイルス感染症に対応したチェックリスト」に基づき、点検、施設内や玩具を消毒し、清潔で安全な環境づくりに努めている。</li> <li>・夏場は、テントや遮光ネットを使用し日陰を作り、熱中症や紫外線対策を行い、快適に過ごせるようにしている。</li> <li>・各クラス、発達に合った玩具や遊びのコーナーを用意するなど、環境整備を行っている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭環境や個人差などに留意し、一人一人の思いを保育士等が優しく受け止め、スキンシップを図りながら安心して過ごせるようにしている。</li> <li>・言葉で気持ちを表現することが難しい場合は、思いを汲み取ったり、代弁したり、話しやすい雰囲気を作り自分を表現することができるよう関わりをもっている。</li> <li>・毎月、職員会議でケース会議を行い、子どもの様子や配慮すべき点を職員間で共通理解し、対応、援助ができるようにしている。内容はケース会議録に記載している。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健安全計画に基づき「今月の約束」を決め、毎月の「げんきっこ」の会の中で、安全で健康に過ごすための約束や病気の予防、基本的な生活習慣などについて、わかりやすく伝えている。</li> <li>・基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもの意欲を大切に家庭とも連携を図り、一人一人の発達や家庭状況を考慮して援助している。</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達や興味・関心に合わせて、玩具、コーナーを設定し、主体的に遊べるようにしている。また、成長、発達に応じて再構築している。今年度は園内研修として“遊び込める環境作り”について取り組み、意識して保育するようにしている。</li> <li>・園庭で伸び伸びと体を動かしたり、散歩を通して豊かな自然に触れて遊び、身近な自然や季節の変化に関心がもてるようにしている。</li> <li>・一緒に生活したり遊ぶ中で、友達との触れ合い、共に遊ぶ楽しさを味わえるよう、仲立ち、援助を行っている。</li> <li>・夏まつりで地域の子育て支援活動「ストロベリーキッズ」と交流したり、農協の方と一緒に野菜の苗植えを行い、地域の方と触れ合う機会をもつようにしている。（「ストロベリーキッズ」との交流は令和2、3、4年度はコロナ禍の為、見合わせている。）</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の看護師、保育士が応答的に関わり、安心感もち愛着関係が形成されるようにしている。</li> <li>・一人一人の発達、興味に応じた玩具を用意したり、安全に遊べるスペースを確保するなど、環境設定を行っている。</li> <li>・離乳食は、家庭や調理員と連携し、一人一人に合ったものを提供している。</li> <li>・送迎時や連絡帳などで家庭、保育所双方の様子を伝え合い、健康状態や発達状況を把握し、共通理解のもと保育を行っている。</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの「自分で」という気持ちを尊重し、基本的な生活習慣が身につくよう見守ったり、一人一人の状況に合わせた援助をするようにしている。</li> <li>・子どもたちが十分に探索活動ができるよう、広いスペースを作ったり、発達や興味に合った玩具で遊べるように整えている。</li> <li>・友達との関わりの中で、一人一人の思いを大切に、思いを受け止めたり、代弁したり、保育士等も一緒に遊ぶ中で関わり方を丁寧に伝えている。</li> <li>・遊びや生活の様子の写真を掲示したり、送迎時や連絡帳を利用し、家庭と保育所での様子を伝え合い、家庭と連絡を密に取り共通理解を持ち、保育を進めている。</li> </ul>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各年齢の発達、子どもの個性や特性に考慮した保育計画を作成し、保育を実践している。また、日々の保育の評価、反省をもとに保育を見直し、その後の保育に活かしている。</li> <li>3歳以上児は異年齢保育を行い、一緒に過ごすことで思いやりや信頼感をもてるようにし、社会性を育てている。</li> <li>子どもたちの興味・関心に合わせた遊びの環境、保育士が「ねらい」をもった遊びの環境を設定し、一人一人が主体的に遊べるように考慮している。</li> <li>保護者と送迎時の会話や日報を通して、日々の保育所での様子を伝えたり、毎月写真を掲示し、保育所での生活や遊びの内容、成長が伝わるようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エールぎふ、幼児支援教室、医療機関など専門機関との連携を取り助言を受けたり、職員は障がい担当保育士育成計画のもと、保育相談員の巡回指導や恵光学園での実習、研修参加で知識を得ている。</li> <li>保護者と送迎時、連絡帳を通して連携を密に図ったり、懇談を行い関係機関からの情報を取り入れ、障がい児個別指導計画を作成し、発達状況やその児の特性に合わせた支援を織り交ぜ、保育している。</li> <li>認定があるなしにかかわらず、発達の様子で気になることがある時は、保護者と困り感を共有しながら巡回相談などを紹介し専門機関とも連携し、発達の状況の把握と援助の手立てが見つけられるようにしている。</li> <li>ケース会議にて、全職員が情報を共有し、その児にとって保育所が過ごしやすい場となるようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭的な雰囲気の中で一人一人が安心して過ごせるような環境づくりをしたり、子どもたちが好きな遊びを用意している。</li> <li>子どもの生活リズムや心身の状態に配慮し、スキンシップを図ったり、温かい関わりの中でゆったりと過ごせるようにしている。</li> <li>標準時間保育時も、お茶が飲めるよう準備している。</li> <li>送迎チェック表を活用し、連絡事項を引き継ぎ、保護者への伝達が確実に伝わるようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アプローチカリキュラムに基づく保育を実践している。</li> <li>保育士が、幼保小合同研修会や幼保小連絡会へ参加し、小学校と連携を図っている。</li> <li>保育所児童保育要録を作成し、必要に応じて小学校と連絡をとり、卒園後も連続した援助が行えるようにしている。</li> <li>就学前に個人懇談を行ったり、就学相談会を紹介したりして、子どもと保護者が共に安心して就学を迎えられるようにしている。</li> <li>小学校との交流を行い、就学へ期待をもてるようにしている。（令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、12月に予定している。）</li> </ul>	

改善できる点／改善方法：

### IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3- (1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜市立保育所全体的な計画」に基づき、前年度の課題を踏まえ保健安全計画を作成、実施している。また、保健安全計画をもとに「今月の約束」を決め、保育の中で子どもたちに伝え、その様子を情報提供掲示板にて、保護者にも伝えている。</li> <li>・既往歴、予防接種の状況等は入所時に保護者に確認、記入してもらい、定期的に追記している。必要事項（アレルギー、痙攣、脱臼など）は全職員に周知している。</li> <li>・受け入れ時に、健康チェックカードを確認、また健康観察を行い、体調の把握をしている。</li> <li>・乳児体動モニター（0歳児）、午睡時健康観察記録表（3歳未満児）を活用し、午睡時の体調の変化に速やかに気づき対応が出来るようにしている。また、突然死のリスクの高いうつぶせ寝にならないよう気をつけている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-3- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断（内科、歯科は年2回、耳鼻科、眼科、検尿は年1回）を「健康診断事前調査票」をもとに実施し、結果を児童票に記録している。健診結果は個別に保護者に知らせ、治療が必要な場合には受診をすすめ、受診状況を確認している。</li> <li>・診断結果により、個別に配慮が必要な場合は、保護者や嘱託医より情報を得て、保育に反映させている。</li> <li>・歯みがきに興味を持てるように「げんきっこ」の会で話をしたり、歯みがきの大切さや方法を知らせている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-3- (3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所食物アレルギー児の給食対応マニュアル」に基づき、医師による「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」の指示に従い、除去を行うようにしている。</li> <li>・毎月、献立成分表を基に保護者、調理員、担任保育士、所長との面談を行い、除去の有無について確認している。</li> <li>・アレルギー児の食事は専用トレイ、食器を使用し、給食室、事務室、クラスで指差し確認を行い、誤食がないようにしている。</li> <li>・熱性けいれんの既往歴のある子に対しては、発症時の状況や対応について保護者と確認し、緊急時に備え「緊急対応表」を作成している。痙攣の起きやすい子については、定期的に検温し、体調の把握に努めている。また、「熱性けいれん対応」「アレルギー対応」などの研修を行い、知識を習得している。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

#### IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「年間食育計画」を作成し、それに基づいて栽培物の収穫や玉ねぎ、とうもろこしの皮むき等のクッキングを行い、食への興味、関心をもてるようにしている。</li> <li>・園庭の畑で野菜やさつまいも等を栽培する中で、世話をしたり、生長に気づき収穫を楽しみにできるようにしている。家庭でも食が話題になることを願って、収穫した野菜を持ち帰っている。</li> <li>・毎週火、金曜日に給食、おやつを展示し、食材の産地情報の掲示や給食レシピを配布し、保護者への情報提供をしている。</li> <li>・食に対する保育所での取り組みや子どもの姿を「食育だより」を通して、保護者へも伝えるようにしている。</li> </ul> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの体調、食べられる量、苦手な食材を把握し、保育士の配膳の際は量を加減し「食べられた」という実感をえられるようにしている。</li> <li>・行事食や季節に応じた食材を提供したり、ランチョンマットを使用したり、音楽を流す等、楽しく食事ができるよう工夫している。</li> <li>・食事のマナーを伝えたり、以上児クラスでは4つのお皿の話をし、栄養について関心がもてるようにしている。</li> <li>・給食検討委員会で献立が検討され、旬の食材や地域の食材を活かした料理が味わえるようにしている。</li> <li>・調理員の協力を得て、クッキングや食材について話をしてもらっている。また以上児クラスでは、「和食の日」にちなみ、栄養士による「だしの話」を聞いたり、だしの試飲する機会を計画している。</li> <li>・「保育所給食衛生管理マニュアル」に基づいて、食材の保管、温度管理等衛生管理を徹底している。</li> </ul> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

#### 評価対象V 子育て支援

##### V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時での会話や日報、連絡帳を通して子どもの様子や情報を伝達し合い、信頼関係を築き、保育にも取り入れるようにしている。</li> <li>・保育参観、個人懇談（未満児は、希望者のみ）を行い、子どもの成長を喜び合ったり、保護者の意向の把握、保育の方針について理解を得られるようにしている。</li> <li>・保育所だより、クラスだよりで、月のねらいや行事の予定を知らせたり、子どもたちの生活、遊びの様子を写真で掲示したり、週の予定やねらいを掲示することで情報提供を行っている。</li> <li>・保護者からの相談は随時受けつけ、相談内容を記録したり、内容に応じて職員間で共有している。</li> </ul> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

## V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2- (1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㊤・b・c
良い点/工夫されている点： ・子どもの姿、様子を送迎時に伝え合い、コミュニケーションを図っている。 ・保護者からの相談は随時受け付け、必要に応じて懇談を行っている。相談内容は、子育て相談記録に記録し、必要な場合は専門機関と連携を図ったり、職員間で周知し、適切な対応ができるようにしている。	
改善できる点/改善方法：	
V-2- (2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c
良い点/工夫されている点： ・「児童虐待対応マニュアル」に基づいて、日頃から、心身の状態や送迎時の様子を観察し、早期発見に努めている。虐待が疑われる場合は、速やかに報告、職員間で観察や記録を取る等の対応ができるようにしている。 ・マニュアルに基づき、研修を行い、知識の獲得、家庭への支援に役立てている。 ・子ども保育課、子ども支援課、岐阜市子ども・若者総合支援センター、岐阜県中央子どもセンターなど関係機関と連携を図り、虐待防止に努めている。	
改善できる点/改善方法：	

## 評価対象VI 保育の質の向上

### VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1- (1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㊤・b・c
良い点/工夫されている点： ・「保育者のための自己評価チェックリスト」を活用し、定期的に保育を振り返る研修を通して、保育所全体で意識を高めたり、自身の保育の課題を見つけ改善につなげている。 ・園内公開保育を実施し、互いの保育を見合い、意見交流を通して、自身の保育を見直したり、今後の進め方を考えるなど保育の向上に努めている。 ・日々、保育の実践に対して振り返りを行い、その後の保育に活かしている。また、その過程を保育日誌に記録している。	
改善できる点/改善方法：	

## 評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

### VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1- (1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㊤・b・c
良い点/工夫されている点： ・不審者対応訓練の年間計画を作成し、様々な想定で訓練を実施、職員の連携などを確認している。 ・年1回県警のたんぼぼ班による連れ去り防止教室に参加し、子どもたちの防犯意識が高まるようにしている。（今年度はコロナ禍のため以上児クラスのみ参加する予定。）	

- ・園内4か所に防犯カメラが設置されており、24時間体制で防犯対策をしている。さすまた、催眠スプレーを備え、緊急時に対応できるようにしている。
- ・不審者情報は、「安心・安全ネットワーク」により、近隣の小学校などから寄せられ、保護者へも掲示して知らせている。
- ・玄関、門扉は9時半から15時まで施錠、またそれ以外の時間も玄関先に職員が居ない時間は施錠し、不審者対策をしている。

改善できる点／改善方法：

## Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㊤・b・c

良い点／工夫されている点：

- ・年度初めに、年間行事予定を配布し、保護者が事前に計画を立てやすいよう配慮している。また、コロナの感染状況により、行事の変更や中止となった際は、掲示や声かけを丁寧に行ない、理解してもらっている。
- ・保育所だよりや行事案内を配布し、詳しい内容を伝えている。また、玄関の見やすい場所に掲示したり、個別への声かけを通して周知されるよう配慮している。
- ・保育参観やオータムフェスティバル、生活発表会などの行事後には、アンケートを実施し、保護者の意見を汲み取ると共に、意見のまとめを配布している。
- ・行事に参加できなかった保護者には資料を渡したり、内容を写真や口頭で伝え、情報提供している。

改善できる点／改善方法：

Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㊤・b・c
------------------------------------	-------

良い点／工夫されている点：

- ・保護者会と連携を取り、活動する際には場を提供したり、その間は役員の子どもを保育している。
- ・保護者会からの相談にはその都度対応し、一緒に考え、保護者と保育所が協力し共通理解のもとで、進められるようにしている。

改善できる点／改善方法：

## Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㊤・b・c

良い点／工夫されている点：

- ・幼保小合同研修会に参加し、情報交換しながら連携を図っている。
- ・就学に向けて保育所児童保育要録を作成し、各小学校へ送付し継続した支援が行われるようにしている。
- ・年長児の保護者に就学前健診の日程を知らせ、全員が受診できるようにしている。
- ・幼保小連絡会にて校区の小学校と連携を図り、1年生の授業参観、担任との話（7月）を実施、また年長児と小1、2年生との交流（12月）を予定している。
- ・地域の小学校と入学式、入所進級式、運動会、卒業式、卒園式に出席、招待し連携を深めている。（令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、見合わせている。）

改善できる点／改善方法：